

はじめに

『子育て満足度日本一を目指して』



私たちは今日、少子高齢化・人口減少という、かつて経験したことのない局面に立たされています。このような状況において、豊かで活力ある大分県を創造していくためには、子どもの健やかな育ちと子育て家庭を応援し、安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指す次世代育成支援の取組が極めて重要となっています。

本県では、平成17年に策定した「大分県次世代育成支援行動計画 おおいた子ども・子育て応援プラン」による取組を着実に進めてまいりました結果、平成18年以降、出生数、合計特殊出生率ともに3年連続で回復するとともに、平成20年の合計特殊出生率は1.53と全国的に高い水準となっています。しかしながら、人口維持に必要とされる2.07を依然として下回っていることから、回復傾向にあるこの機を逃さずに対策を講じ、長期的な少子化や人口減少の流れを緩和していくことが大切です。

そのため、平成21年度からの「中期行財政運営ビジョン」において『子育て満足度日本一を目指す大分県』を政策目標に掲げ、大分県の未来を担う子どもたちや若い世代の夢を後押しする施策を幅広く展開するとともに、さらにもう一段の取組を推進するため、新たな指針となる「大分県次世代育成支援後期行動計画 新おおいた子ども・子育て応援プラン」をこのたび策定したところです。

新しいプランでは、若い世代が安心して子どもを産み育てられるという視点と、子どもが心身ともに健やかに育つという視点から、『子どもの笑顔をはぐくみ、未来を拓く大分県』を「目指す姿」に掲げ、子育てにかかる経済的負担の軽減や、子育て世代を社会全体で応援する仕組みづくり、子育ても仕事もしやすい環境づくりなどの施策を、平成22年度から平成26年度の5年間において、重点的に推進することとしています。

プランの策定に当たっては、子育てや子育て支援に携わっている方々のご意見や子どもたちの声を広く聴く機会を設けるなど、県民意見の反映に努めたところです。また、わかりやすく楽しいプランを目指し、施策に関連したトピックスや子育てに役立つ情報を多く掲載するなど、より多くの県民の皆様にご覧いただけるような工夫も行っています。

今後はこのプランに沿って、「子育て満足度日本一」に向けた取組を進めてまいります。何より大切なことは、子育て中の方々に「地域全体が見守り、支えてくれている」と実感してもらうことであり、さらには、子ども自身の健やかな育ちがあってこそ、子育て満足度が高められると考えています。

そのためには、行政はもとより、家庭、学校、地域、企業などがそれぞれの役割を果たしながら、県民総参加で取り組んでいくことが重要ですので、県民の皆様のご理解と積極的な取組をお願いいたします。

終わりに、「おおいた子ども・子育て応援県民会議」委員の皆様をはじめ、プラン策定に当たり貴重なご意見をお寄せいただきました県民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成22年3月

大分県知事 広瀬 勝貞